



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月11日

上場会社名 株式会社ウイルテック 上場取引所 東
 コード番号 7087 URL https://www.willtec.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮城 力
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 渡邊 剛 TEL 06 (6399) 9088
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,799	—	△61	—	△13	—	△73	—
2020年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △74百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△12.18	—
2020年3月期第1四半期	—	—

(注) 1. 2020年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第1四半期の数値及び2021年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 2021年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,579	6,059	57.3
2020年3月期	11,011	6,225	56.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 6,059百万円 2020年3月期 6,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	121.00	—	20.00	—
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	6.00	—	18.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、2019年10月16日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当合計は「—」としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,680	△4.7	△76	—	196	△68.6	110	△73.3	17.95
通期	25,064	1.1	353	△68.8	734	△37.5	478	△37.5	76.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社 （社名）株式会社サザンプラン、除外 1社 （社名）—

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合等関係）」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	6,166,000株	2020年3月期	6,058,500株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	—株	2020年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	6,072,951株	2020年3月期1Q	—株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社ウェブサイトにて、第1四半期決算説明の動画配信を予定しております。

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期第1四半期の個別業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,075	—	△67	—	50	—	11	—
2020年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	1.97	—
2020年3月期第1四半期	—	—

(注) 1. 2020年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年3月期第1四半期の数値及び2021年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 2021年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	7,383	4,230	57.3
2020年3月期	7,686	4,310	56.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 4,230百万円 2020年3月期 4,310百万円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(企業結合等関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、製造業を中心に各業種における悪影響が継続し内外需ともに低調に推移いたしました。国内の経済活動の先行きにつきましては、引き続き不透明な状況となっております。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、情報通信機械器具分野においては、2020年4月20日に閣議決定された「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」にて、日本政府よりリモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速によって、デジタル・ニューディールを重点的に進める方針が示されました。新型コロナウイルス感染症による影響はあるものの、このことは大きな底支え策になると見込んでおります。しかし、電子部品・デバイス関連分野においては、世界的な経済活動の停滞の影響により、先行き不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループは従業員の安全を第一とし、在宅勤務の推奨や、手洗い、うがい及びマスクの着用等の励行により新型コロナウイルス感染症の感染防止に取り組むと同時に、積極的な営業活動を推進し、コスト管理の徹底と業務の効率化を一層推し進め、経営成績の確保に努めました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,799,435千円、営業損失は61,845千円、経常損失は13,795千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は73,953千円となりました。

セグメントごとの経営成績（内部売上を含む）は、次のとおりであります。

〔マニュファクチャリングサポート事業〕

当セグメントにおいては、当社が、製造請負・製造派遣事業、機電系技術者派遣事業及び修理サービス事業を営んでおります。

製造請負・製造派遣事業及び機電系技術者派遣事業においては、情報通信機械器具分野は製造が減産することなく受注が好調に推移いたしました。電子部品・デバイス関連分野における市場が経済活動の停滞の影響を受けたことにより、全体としての受注は低調に推移いたしました。しかし、修理サービス事業においては、新型コロナウイルス感染症が流行する中でも既存取引先からの案件が順調に増加し、受注が好調に推移いたしました。その結果、売上高は4,075,546千円となり、セグメント損失は64,738千円となりました。連結売上高に占める当セグメントの売上高の比率は70.3%となりました。

〔コンストラクションサポート事業〕

当セグメントにおいては、株式会社ワット・コンサルティングが、建設系技術者派遣事業を営んでおります。

建設系技術者派遣事業においては、継続的な公共投資の需要に加え、企業の設備投資においても設備の老朽化対策による投資や工場の自動化に向けた投資など、新型コロナウイルス感染症に比較的左右されづらい投資が中心となっていることなどから、受注が好調に推移いたしました。その結果、売上高は879,026千円となり、セグメント利益は44,198千円となりました。連結売上高に占める当セグメントの売上高の比率は15.1%となりました。

〔EMS事業〕

当セグメントにおいては、デバイス販売テクノ株式会社が、受託製造事業及び電子部品卸売事業を営んでおります。

受託製造事業及び電子部品卸売事業においては、新規案件の確保による自社工場の稼働率上昇及び電子部品の販売強化に努めましたが、市場の低迷などにより受注が低調に推移いたしました。その結果、売上高は832,687千円となり、セグメント利益は17,608千円となりました。連結売上高に占める当セグメントの売上高の比率は14.4%となりました。

〔その他〕

報告セグメントに含まれない事業として、障がい者支援事業、畜産業及び海外事業を営んでおります。

売上高は56,153千円となり、セグメント損失は20,814千円となりました。連結売上高に占めるその他の売上高（内部売上を除く）の比率は0.2%となりました。

セグメント	売上高
マニュファクチャリングサポート事業	千円 4,075,546
コンストラクションサポート事業	879,026
EMS事業	832,687
その他（注）2	56,153
調整額（注）3	△43,977
計	5,799,435

（注）1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、障がい者支援事業、畜産業及び海外事業を含んでおります。

3. 調整額は、セグメント間取引であります。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ432,571千円減少し10,579,070千円（前期末比3.9%減）となりました。これは主に、現金及び預金の減少530,344千円、売上高の減少による売上債権の減少432,460千円、株式会社サザンプランの株式取得によるのれんの計上318,917千円及び棚卸資産の増加75,132千円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ265,907千円減少し4,519,855千円（前期末比5.6%減）となりました。これは主に、設備費用の支払い等によるその他に含まれる未払金の減少161,081千円、法人税の支払い等による未払法人税等の減少162,961千円及び人件費の増加による未払費用の増加127,301千円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ166,663千円減少し6,059,214千円（前期末比2.7%減）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失73,953千円及び配当金の支払い121,170千円に伴う利益剰余金の減少195,123千円、新株予約権の行使に伴う資本金の増加14,190千円及び資本剰余金の増加14,190千円によるものであります。この結果、自己資本比率は57.3%（前連結会計年度末は56.5%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2020年6月17日に公表いたしました連結業績予想及び配当予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2020年8月11日）公表いたしました「2021年3月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,535,590	4,005,245
受取手形及び売掛金	3,381,270	3,223,422
電子記録債権	918,440	643,827
商品及び製品	91,681	150,962
仕掛品	43,665	31,673
原材料及び貯蔵品	142,050	169,894
その他	487,161	540,643
貸倒引当金	△26,400	△23,100
流動資産合計	9,573,460	8,742,568
固定資産		
有形固定資産	834,443	839,499
無形固定資産		
のれん	—	318,917
その他	94,078	91,876
無形固定資産合計	94,078	410,793
投資その他の資産	509,658	586,209
固定資産合計	1,438,181	1,836,501
資産合計	11,011,641	10,579,070
負債の部		
流動負債		
買掛金	265,343	252,987
電子記録債務	148,148	155,478
短期借入金	328,560	328,560
未払法人税等	252,722	89,761
賞与引当金	91,081	128,012
未払費用	1,505,279	1,632,580
その他	1,123,646	853,097
流動負債合計	3,714,783	3,440,477
固定負債		
社債	98,000	98,000
長期借入金	514,360	507,220
退職給付に係る負債	255,657	271,214
その他	202,961	202,943
固定負債合計	1,070,979	1,079,377
負債合計	4,785,763	4,519,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	98,000	112,190
資本剰余金	801,610	815,800
利益剰余金	5,329,411	5,134,288
株主資本合計	6,229,022	6,062,278
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,143	△3,064
その他の包括利益累計額合計	△3,143	△3,064
純資産合計	6,225,878	6,059,214
負債純資産合計	11,011,641	10,579,070

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,799,435
売上原価	5,115,253
売上総利益	684,181
販売費及び一般管理費	746,027
営業損失(△)	△61,845
営業外収益	
受取利息	107
受取配当金	358
助成金収入	43,831
その他	5,857
営業外収益合計	50,155
営業外費用	
支払利息	627
持分法による投資損失	320
売上割引	495
その他	660
営業外費用合計	2,105
経常損失(△)	△13,795
税金等調整前四半期純損失(△)	△13,795
法人税、住民税及び事業税	71,675
法人税等調整額	△11,517
法人税等合計	60,157
四半期純損失(△)	△73,953
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△73,953

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△73,953
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△79
その他の包括利益合計	△79
四半期包括利益	△74,032
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△74,032
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、第4回新株予約権の権利行使による新株発行により発行済株式数が107,500株増加し、資本金及び資本剰余金がそれぞれ14,190千円増加しております。この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が112,190千円、資本剰余金が815,800千円となっております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

当社は、2020年6月17日開催の取締役会において、株式会社サザンプランの全株式を取得し、子会社化することについて決議し、2020年6月23日付で株式譲渡契約を締結し、同日付で全株式を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社サザンプラン

事業の内容：中古ビジネスホンなどのOA機器の買い取り、修理・磨き上げの上で売却する仕組みを構築

(2) 企業結合を行った主な理由

株式会社サザンプランは2012年の創業以来、ビジネスホンを中心に「仕入」「メンテ」「流通」の高収益事業モデルを確立し、独自の「再生技術」（清掃、磨き、塗装）を武器に、業績を伸ばしております。

本件により、当社がこれまで培った修理サービス事業等と株式会社サザンプランの持つ「再生技術」との連携、並びに「流通」のノウハウを活かしての電子部品の販売力強化により、一層の企業価値向上を目指してまいります。

(3) 企業結合日

2020年6月23日（株式取得日）

2020年6月30日（みなし取得日）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	550,000千円
取得原価		550,000

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬等 38,100千円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

318,917千円

(2) 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力によるものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

7年間にわたる均等償却